

## はじめに

国土技術政策総合研究所（国総研）は、今年4月に、国土交通省の土木研究所、建築研究所及び港湾技術研究所が独立行政法人に移行したことにあわせ、国土の利用、開発及び保全のための住宅・社会資本に関連する技術で国土交通省の所掌事務に関わる政策の企画及び立案に関する総合的な調査、試験、研究及び開発を行うことを目的として、3研究所の一部業務を統合し新たに設立された。当研究所は、住宅・社会資本分野で唯一の国の試験研究機関であり、技術政策支援を行う研究所として国土交通省の行政部門と一体となった研究開発活動が期待されている。

去る6月15日、国総研が目指すべき方向を明確にすることを目的として、設立記念シンポジウムを開催し、当研究所の使命、研究の概要を示した「21世紀の美しい国土をめざして新生国土技術政策総合研究所」の紹介とともに、基調講演で「これからの国土マネジメント」のあり方を提示の上、「国土技術政策総合研究所に期待するもの」と題してパネル・ディスカッションでご議論いただいた。

本報告書は、東京大学教授の森地教授の基調講演及び有識者によるパネル・ディスカッションの内容を主としたシンポジウムの概要を中心に、シンポジウムに引き続いて開催された設立記念式典の模様を含めて、とりまとめたものである。

なお、本報告書の構成は、第1章のシンポジウムの構成、第2章の主催者挨拶等、第3章の基調講演の概要、第4章の国総研の概要説明、第5章のパネルディスカッションの概要の5章から成り、資料として設立記念式典資料、参考資料として基調講演の資料、式典の概要、後日行った国総研への期待、要望に関する民間の建設関連研究機関へのアンケート結果を巻末に添付している。

最後に、御多忙中にも拘わらずご参加いただいた400名を越える聴衆の皆様、本シンポジウムの開催に当たりご協力いただいた森地先生、パネリストの皆様及び関係各位に感謝を申し上げます。皆様よりいただいた国総研への期待、要望を踏まえて、今後の研究活動に努力を重ねて参る所存である。

国土交通省 国土技術政策総合研究所長

藤井友雄